

第2回宗像市公共施設アセットマネジメント推進計画策定審議会 議事録	
日 時	令和6年9月4日（金）午後2時30分から
場 所	宗像市役所北館2階 204会議室
委 員	池添昌幸 委員（会長）、小部彰一郎 委員、松本奈津美 委員、 【欠席】佐藤太郎 委員、目原凪斗 委員
出席者	宗像市アセットマネジメント推進課 中山課長 角脇係長（アセットマネジメント推進係） 小田主任主事（アセットマネジメント推進係）
内 容	1 開会 2 前回議事録確認 3 議事 「宗像市公共施設アセットマネジメント推進計画」 ・第1章 宗像市の将来推計人口と公共施設等の現状 ・第2章 公共施設等の管理に関する適正化方針 4 今後のスケジュールについて 5 閉会 （1）開会 — 会長より、委員3名の出席により、本審議会開催の定足数に達している旨の報告 — （2）前回議事録確認 事務局：第1回の審議会で、前回の計画の見直しにおける更新・改修費用の見込みとこれまでに実際にかかった費用の比較ができないとの意見があったので、後ほど計画案の説明の際に、改めて進捗状況を報告する。 （3）議事 — 資料1、資料3について事務局から説明 — 池添会長：2ページの「3.計画の位置づけ」について、国土強靱化地域計画、雨水管理総合計画は「主要な関連計画等」の枠内に記載するという意図か。

事務局：お見込みのとおり。当該計画は、令和 2 年度以降に策定された代表的な計画であるが、特に防災に関するものなので、今回の更新にあたって、施設に避難所としての機能を加えていくということで計画に記載する。

池添会長：避難所ということは、インフラだけではなく、建物にも関係してくるということか。

事務局：お見込みのとおり。

池添会長：5 ページに「GIGA スクール構想に伴うネットワーク整備」とあるが、これは令和元年度の間違いではないか。

事務局：GIGA スクール構想に伴うネットワーク整備は、アセットマネジメント推進計画には関係がない事業のため、当該部分の記載については、今後修正する。

小部委員：26 ページの「(7)適正規模・適正配置の推進方針」について、ここでの検討は今回の見直しで検討する認識で良いのか。それとも見直し後に計画の進捗を管理する中で随時検討していくものなのか。

事務局：現在、各部門に現行計画での施設の方針を基に進捗の確認や想定され得る今後の方針を共有し、9 月から 10 月にかけてより詳細な議論を進めていく。これらを踏まえて、今後、第 3 章、第 4 章において施設ごとの個別方針を検討する予定であり、第 3 回以降の審議会において意見をいただきたい。

小部委員：17 ページの事業費の見込みについて、施設の適正配置が反映されることで、今後、シミュレーションの金額にも反映されるという認識で良いか。

事務局：お見込みのとおり、既にシミュレーションでは、集約化・複合化した場合の面積の圧縮を金額にも反映しているので、それらの評価が変更になった場合は、この金額にも当然反映される。

小部委員：計画期間内に公共施設の保有総量を 10%削減する目標とのことだが、現行計画通りに進められれば達成できそうなのか。

事務局：現行計画通りに進めた場合 2～3%程目標に届かない試算である。こうした目標に足りない部分については、今回の見直しで重点的に検討していく。

小部委員：包括管理、定期点検が今回の見直しにおける非常に重要なポイントになると認識しているが、25 ページに記載の点検履歴のデータベース化については、今回見直される計画に記載されるのか。

事務局：今回の計画の見直しと並行して、令和 5 年度から導入した包括管理委託の中で、点検結果のデータベース化を行っており、資料編に記載する。

池添会長：17 ページの「更新・改修費用の比較」について、③見直しの金額は現行計画における複合化・集約化の評価に基づく試算という理解で良いか。

事務局：お見込みのとおり。

池添会長：今後の分野別方針の協議の際に、現行計画の評価が変わる可能性はあるか。

事務局：大きく変わることはないが、可能性はある。

池添会長：例えば、学校について、規模の適正化や複合化を検討するという説明があったが、現行計画ではほとんどの学校の評価が「現状維持」となっている。③見直しの金額は、「現状維持」の評価で試算されているということで間違いないか。

事務局：間違いない。一旦は「現状維持」としているが、「学校を核としたまちづくり」をキーワードに、学校を建て替える際には、当然、複合化・集約化を検討する。

池添会長：今後の見直しの際に、学校の統廃合や他の施設との複合化があったときは、それが反映された事業費の算定が行われるという理解で良いか。

事務局：お見込みのとおり。

池添会長：19 ページのグラフにおける短期費用については、更新・改修費用ではなく、維持管理費用に当たるものが計上されているのか。

事務局：短期費用は、維持管理費用ではなく、改修費用に当たる。包括管理による定期点検によって、本来の改修時期を過ぎていると思われるものを効率的に改修していくために短期費用として計上している。

池添会長：2029 年までの短期費用分の改修計画はもうできているのか。

事務局：できている。既に改修時期を過ぎていると思われるものや外見的に劣化が激しいものがあり、それらを 5 年間で改修する。

池添会長：19 ページのグラフにおける短期費用は、これ以降徐々に無くなっていくということか。

事務局：お見込みのとおり。これらについては、誤解がないよう改めて記載方法を検討する。

小部委員：施設の稼働状況などを考慮しないまま、建物が劣化したから改修するというように目先の改修に囚われているように思える。現行計画の評価から大きく変わらないとのことだが、対外的に説明する際に、こうした施設の状況も考慮した上での計画であることの説明が必要かと思う。

事務局：現行計画での評価が結果として変わらない場合でも、大きな方針に留まる部分もあるかとは思いますが、今回の見直しでの評価を説明できるようにしたい。

池添会長：今回の見直しでは費用試算の方法が大きく変わっており、現行計画の費用削減目標 25%から 10%に変わっているので、3 ページの「4. 計画の見直しにあたって」において、現行計画と変わっていない「3 保有総量圧縮目標の見直し」よりも、試算方法を変更した旨を記載すべき。

池添会長：5 ページの「2. 宗像市の財政状況」において、現行計画での試算に対する 2020 年度以降の進捗についての補足があったが、計画の当初策定時にあたる 10 年前から進捗については、計画中に記載されていない。

池添会長：10 ページの「(2)公共施設の保有状況」は現行計画とほとんど変わらないが、公共施設の保有量の変化についての記載がないため、11 ページの表との繋がりが無い。

池添会長：25 ページ以降に実施方針が記載されているが、基本方針と実施方針が対応していない。ユニバーサルデザインや脱炭素に関する実施方針は、全体に共通する方針なので、「その他の方針」といったように分けた方がよい。

事務局：いただいた意見について、案に反映できるよう検討する。

(4) 今後のスケジュールについて

— 資料 2 について事務局から事務局説明 —

(5) 閉会